

A~Dの4分類ごとの府省別内訳等

A. 京都議定書6%削減約束に直接の効果があるもの 3,794億円

環境省 332億円 (9%)

- ・京都メカニズムクレジット取得事業費 40億円
- ・チャレンジ25地域づくり事業 27億円
- ・バイオ燃料導入加速化事業 10億円

等

国土交通省 92億円 (2%)

- ・森林環境保全整備事業 69億円

等

その他省庁 11億円

農林水産省 1,275億円 (34%)

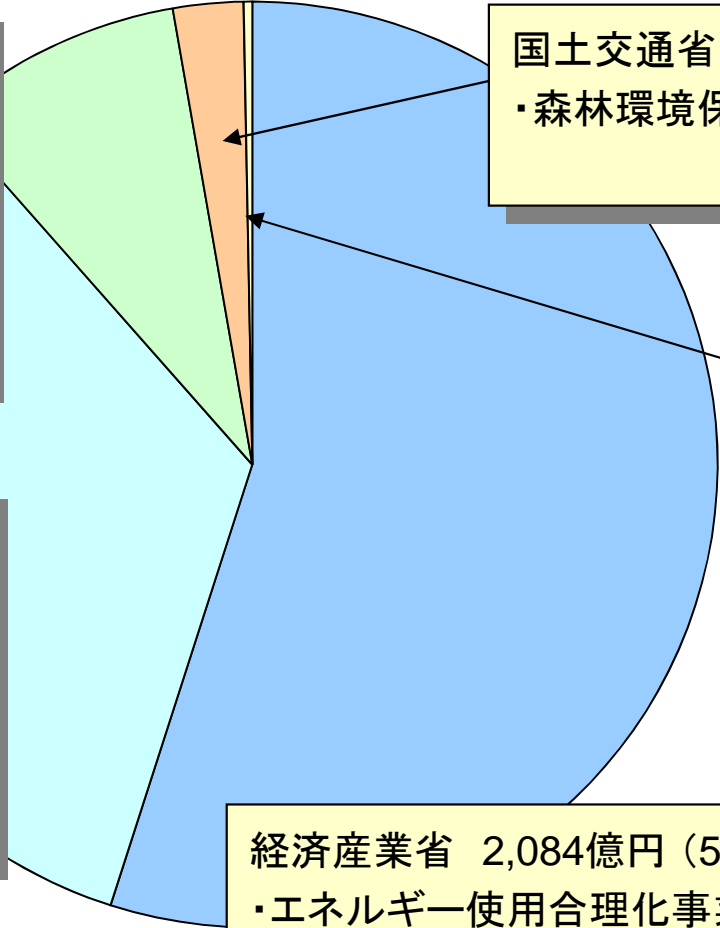
- ・森林環境保全整備事業 908億円
- ・水源林造成事業 244億円
- ・治山事業費(森林の整備を行うもの) 87億円

等

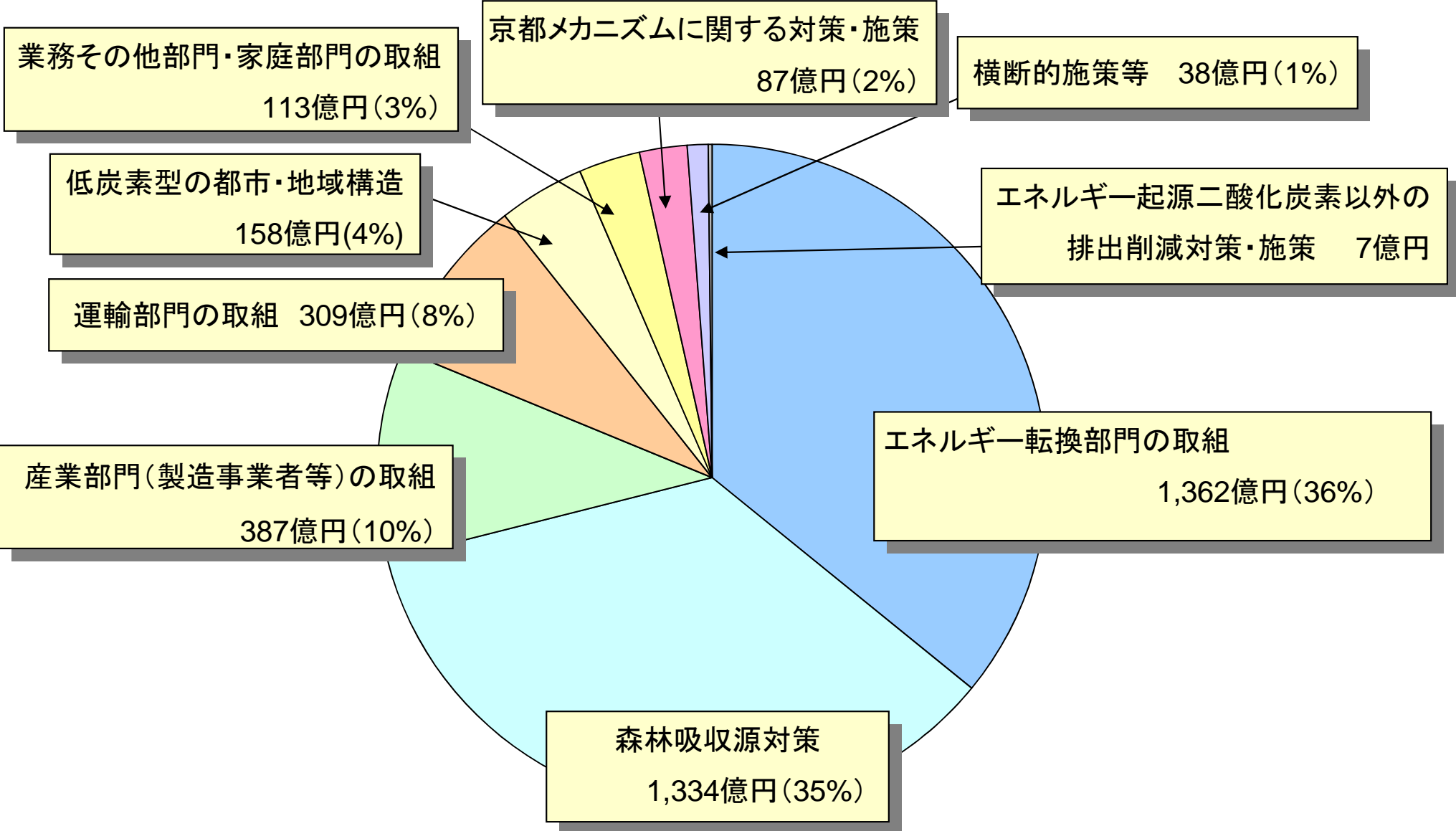
経済産業省 2,084億円 (55%)

- ・エネルギー使用合理化事業者支援補助金 343億円
- ・クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金 292億円
- ・民生用燃料電池導入支援補助金 90億円

等



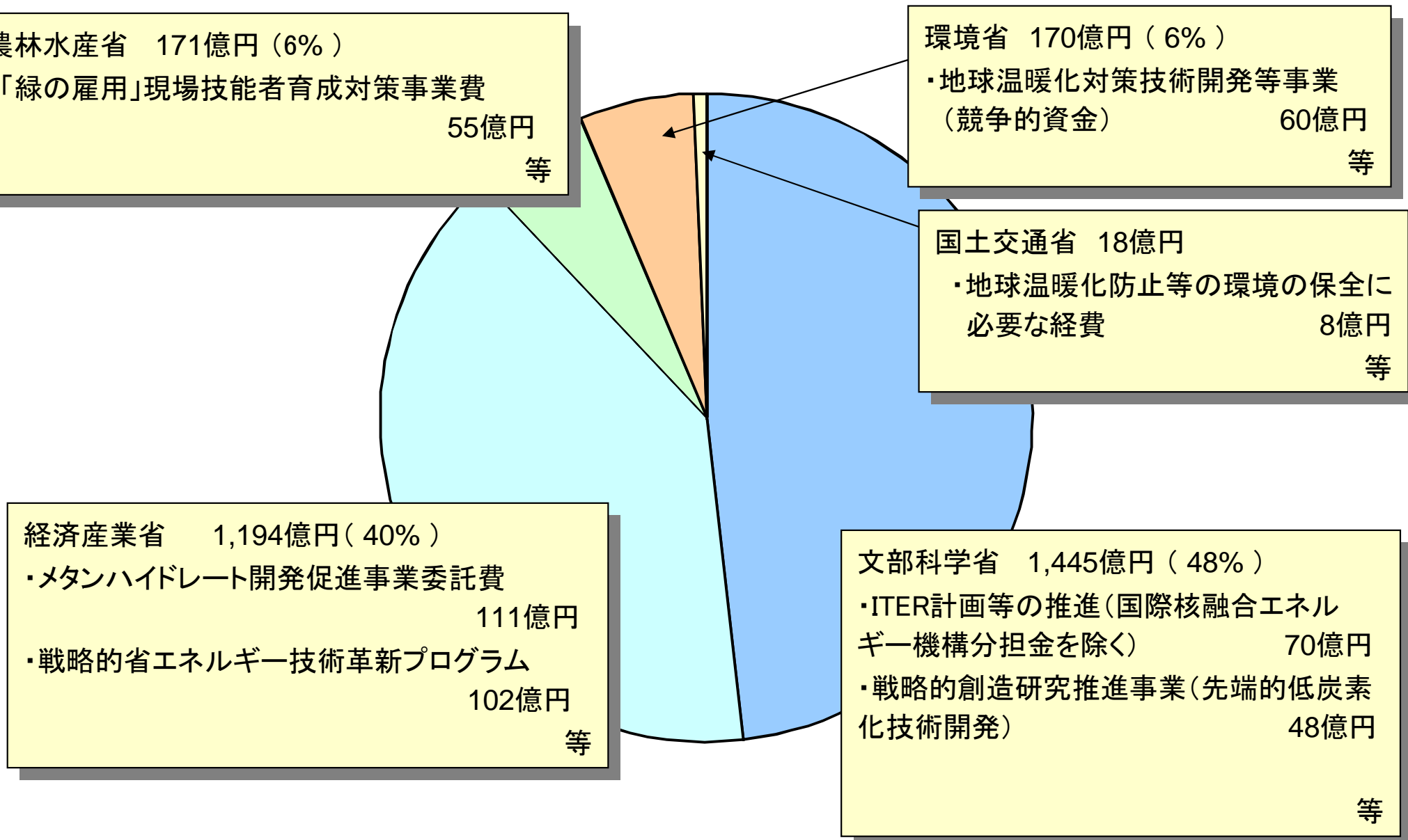
【参考:「A. 京都議定書6%削減約束に直接の効果があるもの」の対策分野別内訳】



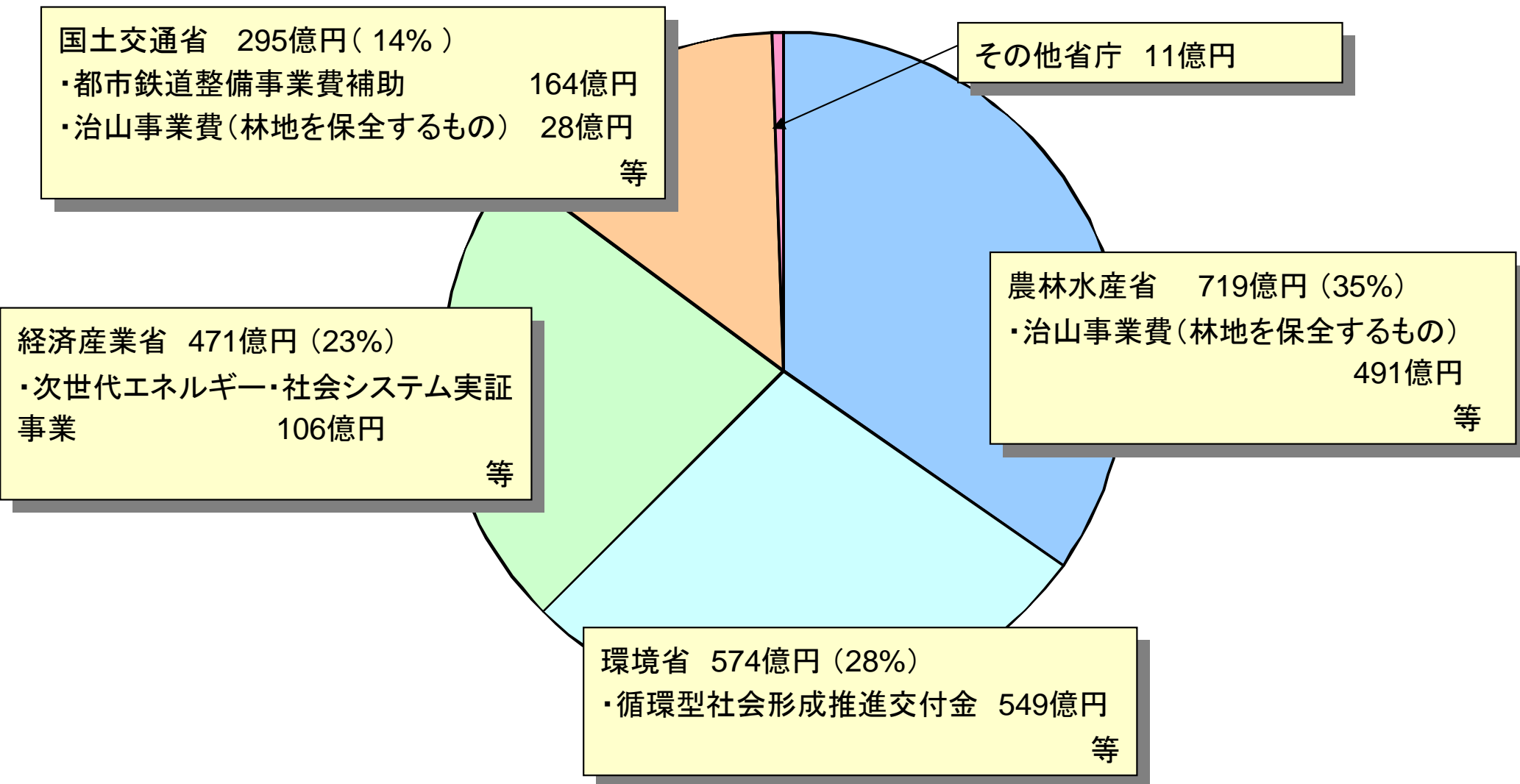
(注)24年度予算について、京都議定書目標達成計画関係予算の「京都議定書の6%削減約束に直接の効果があるもの」に該当すると考えられるものを集計したところ、計3,794億円であった。

B. 温室効果ガスの削減に中長期的に効果があるもの

2,998億円



C. その他結果として温室効果ガスの削減に資するもの 2,069億円



D. 基盤的施策など

938億円

国土交通省 90億円 (10%)

- ・静止気象衛星業務整備費 71億円 等

農林水産省 32億円 (3%)

- ・気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための技術開発 13億円 等

その他省庁 46億円

文部科学省 360億円 (38%)

- ・全球地球観測システム構築の推進に必要な経費 314億円 等

環境省 135億円 (14%)

- ・いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備 14億円
- ・気候変動影響評価・適応推進事業 3億円
- ・温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による地球環境観測事業 1億円 等

経済産業省 275億円 (29%)

- ・国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業 204億円 等